

## 平成 24年度長野県総合防災訓練の結果について

### 1 訓練の概要

- (1) 開催日時：平成 24 年 10 月 21 日（日） 午前 8 時から午後 1 時 30 分まで  
職員による非常伝達訓練及び参集訓練は午前 6 時から実施
- (2) 訓練会場：上田市一帯 主会場：上田市千曲川市民緑地公園上堀グラウンド  
サブ会場：上田城跡公園体育館、信州上田医療センター、  
上田駅周辺、うえだみなみ敬老園
- (3) 参加機関：107 団体  
陸上自衛隊、千曲川河川事務所、長野国道事務所、中部森林管理局、東日本電信電話(株)、  
東日本旅客鉄道(株)、中部電力(株)、上田電鉄(株)、しなの鉄道(株)、(社)長野県トラック協会、(社)  
上田市医師会、(社)小県医師会、上田ガス(株)、長野都市ガス(株)、(一社)長野県 L P ガス協  
会、上田市社会福祉協議会、上田市赤十字奉仕団、丸子赤十字奉仕団、上田市上下水道事  
業協同組合、(株)上田ケーブルビジョン、上小トラック協会、信州うえだ農業協同組合、丸  
子テレビ放送(株)、上田市自治会連合会、上田市防災支援協会、緊急消防援助隊長野県隊、  
長野県警察本部、上田市議会、上田市消防団、上田地域広域連合消防本部、長野県、上田  
保健福祉事務所等
- (4) 参加人数：約 3,500 人

### 2 訓練内容

#### (1) 実施方針

地震、火災、豪雨災害及び異臭事案発生による被害想定のもと、多数の市民と関係する防  
災関係機関が参加・連携し、より実戦的な訓練を行い、災害時における自助・共助の確認と各  
防災関係機関による公助の連携を深め、被害の軽減を図る。

併せて長野県災害時相互応援協定（東御市・長和町・青木村・坂城町）及び災害時相互  
応援協定（上尾市・練馬区）に基づく広域応援訓練を実施し、訓練を通して災害時の広域連携  
の推進を図るものとする。

#### (2) 訓練種目（65 種目実施）

- ア 主会場（上堀グラウンド）  
現地本部・指揮支援本部設置 / 情報伝達・収集 / 集団避難誘導 / 水防等 【49 種目】
- イ 上田城跡公園体育館  
福祉避難所設置運営 / 災害等パネル / 応急仮設住宅展示等 【8 種目】
- ウ 信州上田医療センター  
災害拠点病院本部病院 / DMA T 本部設営等 【3 種目】
- エ 上田駅周辺  
異臭事案による被害対応・避難誘導 / 高所ビル（パレオ）からの救助等 【4 種目】
- オ うえだみなみ敬老園

社会福祉施設避難誘導・救護 【1種目】

(3) 訓練の特徴

ア 市内5会場において、地震災害のほか、豪雨災害、火災、異臭事案発生による被害想定に基づき、各専門機関が参加した実戦的な総合防災訓練を実施した。

イ 多くの訓練に住民が参加する体験型訓練を実施した。

訓練種目	訓練会場	訓練対象者	参加人数
・ 集団避難誘導 ・ 避難所設置運営 ・ 初期消火	上堀グラウンド	東部地区 4自治会 城下地区 3自治会 神川地区 3自治会	110人
・ 一人暮らし等災害時要援護者 避難誘導 ・ 福祉避難所設置運営 ・ 住民による救急救命	上田城跡公園体育館	中央地区 1自治会 西部地区 12自治会	85人
・ 鉄道乗客避難誘導 ・ 異臭事案による避難誘導 ・ 高所ビルからの救助	上田駅周辺	南部地区 8自治会	42人
・ 社会福祉施設避難誘導・救護	うえだみなみ敬老園	中常田自治会	10人
災害体験 / 災害対策車両展示 / 災害救助犬訓練展示・ふれあ いコーナー	上堀グラウンド	一般観覧者	1,200人
災害等パネル展示	上田城跡公園体育館		

ウ 千曲川の増水により河川内に取り残された観光客(釣り客)と、ライフラインの寸断により孤立した地域(美ヶ原(仮想))の観光客を、ヘリコプターを使い救出する訓練を実施した。

エ 長野県市町村災害時相互応援協定に定める上小ブロック構成自治体(東御市・長和町・青木村)と災害時相互応援協定を締結する上尾市と練馬区、さらに隣接自治体となる坂城町を加え、救援物資搬送及び消防団員派遣訓練を実施した。

オ 緊急消防援助隊長野県隊においては、前日から市内において緊急消防援助隊受援訓練、部隊参集訓練及び野営訓練を実施した。また、当訓練当日には野営訓練会場から主会場まで部隊移動訓練を行い、訓練参加するという実戦的訓練を行った。

(4) その他

市役所における災害対策本部設置運営訓練、市職員対象の「非常伝達・参集訓練」及び「避難所開設訓練」等も併せて実施した。

3 反省及び成果

- ・ 地域内の要援護者を想定した避難誘導訓練等、多くの市民に積極的な参加をいただき地域防災力の向上、防災意識の高揚に向け有意義な訓練となった。
- ・ 市職員においても、訓練準備段階から市地域防災計画に定める災害対策班の業務に基づき、各訓練参加機関との連絡・調整役を担当し、災害時における関係機関との連携強化を図ることができた。